

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	脱脂、洗浄用溶剤
会社名	株式会社川金コアテック
住所	茨城県結城市若宮8-43
電話番号	0296-21-2202
ファックス番号	0296-32-8088

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	区分5
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激	区分2A-2B
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系、腎臓、全身毒性) 区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(血管、肝臓、脾臓)
	吸引性呼吸器有害性	区分2

絵表示又はシンボル

注意喚起語
危険有害性情報

危険
引火性の高い液体及び蒸気。飲み込むと有害のおそれ(経口)。
皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)。
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
中枢神経系、腎臓、全身毒性の障害
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による血管、肝臓、脾臓の障害のおそれ
飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。
容器を密閉しておくこと。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱後は手などをよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合: 多量の流水で洗うこと。汚染された衣服を脱ぐこと。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
目の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：無理に吐かせないこと。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
 火災の場合には、火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火すること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
 施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

成分名	含有量(%)	CAS No.	文書交付対象物質
イソプロピルアルコール	99%以上	67-63-0	-

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。安静。医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合 皮膚を速やかに洗浄すること。医師の手当、診断を受けること。

眼に入った場合 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。
 清浄な流水で少なくとも15分間水で洗眼すること。
 洗眼の際、眼球とまぶたの隅々まで洗うこと。
 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合 医師の手当、診断を受けること。口をすすぐこと。吐かせない。

5. 火災時の措置

消火剤 ・小火災：二酸化炭素、粉末、散水、耐アルコール性泡消火剤
 ・大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤

**使ってはならない消火剤
 特有の危険有害性** 棒状水
 火災によって刺激性・毒性又は腐食性のガスを発生する恐れがあるので消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
 引火性が高い。極めて燃え易い。熱・火花・火災で容易に発火する。

特有の消火方法 消火作業は、風上から行う。
 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
 散水によって逆に火災が広がる恐れがある場合には、その他の適切な消火剤を使用すること。

消火を行う者の保護 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急措置** 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。
 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
 必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

**封じ込め及び浄化の方法
 及び機材** 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。
 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから密閉可能な容器に回収する。その後は少量の場合に準じる。
 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
 火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱い注意事項 使用前に取扱説明書入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざげること。-禁煙。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
 容器を接地すること、アースをとること。
 火花を発生させない工具を使用し、静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 使用時は飲食又は喫煙をしないこと。使用後は手をよく洗うこと。
 「10. 安定性及び反応性」を参照。
 取扱い後は手などをよく洗うこと。

**接触回避
衛生対策
保管**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 涼しいところに置くこと。火気厳禁。施錠して保管すること。
 酸化剤から離しておく。

8. ばく露防止及び保護措置

**管理濃度
許容濃度**

200ppm
 日本産衛学会(2005年度) 400(ppm) 980(mg/m³)
 ACGIH(2005年) TLV-TWA 200ppm A4

設備対策

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
 容器を接地すること、アースをとること。
 火花を発生させない工具を使用すること。

保護具

**呼吸用保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具**

必要に応じて、適切な呼吸用保護具を着用すること。
 保護手袋、保護衣を着用すること。
 保護眼鏡、保護面を着用すること。
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

外観

無色透明な液体

臭い

刺すような臭い

臭いのしきい(閾)値

データなし。

pH

データなし。

融点・凝固点

-90°C

沸点、初留点及び沸騰範囲

83°C

引火点

11.7°C

蒸発速度

データなし。

燃焼性(固体、気体)

該当しない。

燃焼又は爆発範囲

下限:2%、上限:12%

蒸気圧

4.4kPa(20°C)

蒸気密度

2.1

比重(相対密度)

0.78505(20°C/4°C)

溶解度

水:1000g/L

n-オクタノール/水分配係数

log P = 0.05

自然発火温度

456 °C

分解温度

データなし。

粘度(粘性率)

2.37mPa·s(20°C)

10. 安定性及び反応性

**反応性、化学的安定性
危険有害反応可能性**

通常の条件においては、安定である。
 強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険性をもたらす。
 高温においてアルミニウムを腐食する。

避けるべき条件

高温

混触危険物質 強酸化剤、強アルカリ
 危険有害な分解生成物 火災時の燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などの有害ガスが発生する。

11. 有害性情報
- 急性毒性 区分5 飲み込むと有害のおそれ
 - 皮膚腐食性及び刺激性 区分外
 - 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A-2B 強い眼刺激
 - 呼吸器感受性 データなし
 - 生殖細胞変異原性 区分外
 - 発がん性 区分外
 - 生殖毒性 区分2 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 - 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1 中枢神経系、腎臓、全身毒性の障害
 - 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分3 呼吸器への刺激のおそれ
 区分2 長期又は反復ばく露による血管、肝臓、脾臓の障害のおそれ
 - 吸引性呼吸器有害性 区分2 飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ
12. 環境影響情報
- 水生環境急性有害性 区分外
 - 水生環境慢性有害性 区分外
13. 廃棄上の注意
- 残余廃棄物 廃棄においては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
 廃棄物処理免許を持つ処理業者に委託して処理すること。
 - 汚染容器及び包装 汚染容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分すること。
14. 輸送上の注意
- 国際規制 海上輸送はIMOの規則に、航空輸送はICAO/IATAの規則に従う。
 - 国連番号 1219
 - 国連品名 ISOPROPANOL
 - 国連危険有害性クラス 3
 - 副次危険 -
 - 容器等級 II
 - 海洋汚染物質 Not Applicable
 - 国内規制
 - 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
 - 航空規制情報 航空法の規定に従う。
 - 陸上規制情報 消防法・毒劇法の規定に従う。
 - 特別安全対策 移送時にイエローカードの保持が必要。
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。
15. 適用法令
- 労働安全衛生法 第2種有機溶剤等
 危険物・引火性の物
 名称等を表示すべき有害物
 名称等を通知すべき有害物
 - 消防法 第4類引火性液体、アルコール類
 - 船舶安全法 引火性液体類
 - 航空法 引火性液体
 - 海洋汚染防止法 有害液体物質(Z類物質)
16. その他の情報
- 参考文献
 GHS対応ラベル表示作成指針(日本化学工業)
 化学物質の表示、文書交付制度のあらまし(厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署)
 表示(ラベル)とSDSに関する法令(中央労働災害防止協会)

安全データシート(日本芳香族工業会会員会社)
職場の安全サイト(厚生労働省)
原材料／製品メーカーMSDS

注意事項

- ・記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データによるものですが、含有量、物理的・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
- ・新しい地検や安全情報が判明した場合は予告なく変更する場合があります。
- ・記載された注意事項は通常的な取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には、ご使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。